

<平成 27 年度>

市長公室の取り組み実績

秘書課
広報課
広聴相談課
人権政策室

I 重点施策・事業

◆広報機能の充実

市ホームページ 庁内における操作研修の実施や新たなデザインページの作成などを実施し、誰にでも見やすく、目的とする情報を探しやすいホームページを目指します。また、平成 27 年度末のケーブルテレビ放送終了を見据え、ホームページでの動画配信の充実を図ります。

広報ひらかた 小・中学生など、若い世代を含めた幅広い世代に読んでもらえる紙面づくり、新たな企画に取り組みます。

情報発信リーダー 情報収集と情報発信力の向上を目指した研修を実施するとともに、積極的な情報発信を働きかけます。

実績

- ・ホームページの作成や操作方法などについて、職員対象の操作研修を実施した。また、より見やすいホームページをめざし、情報の整理やサーバーへのアクセス集中時のトラブルを防ぐため、新CMS構築に向けた検討を行った。
- ・動画配信については、ケーブルテレビ終了後にホームページなどで市の歴史やスポットなどの魅力を紹介するための動画を作成した。
- ・広報ひらかたをスマートフォンで見ることが出来る「i 広報紙」を導入した。
- ・ツイッターでの情報発信に加え、3月に市公式フェイスブックをスタートさせた。
- ・広報ひらかたでは、枚方の歴史や選挙、予算について子どもに分かりやすく紹介する特集を組んだほか、地名に関する歴史コーナーを始めた。

◆市勢要覧の発行

市の特色あるまちづくりや魅力を紹介する冊子として、リニューアル発行します。

実績

- ・枚方のことを知らない人をターゲットに、市の魅力が伝わる内容に全面改定。日本語版 6,000 部、英語・中国語・韓国朝鮮語版各 1,000 部作成し、公共施設をはじめ商業施設にも設置した。

◆終戦 70 年平和事業

今年には終戦 70 年になることから、悲惨な戦争の経験を風化させることのないよう、戦争の恐ろしさや平和の尊さを、朗読や人形劇、沖縄戦・原爆に関するパネル展など様々な手法で幅広い世代に伝えます。

実績

- ・終戦 70 年平和事業として、人形劇団むすび座公演「父と暮せば」、語り部と朗読でつづる平和への思い、平和映画会「飛べ！ダコタ」、沖縄戦とひめゆり学徒パネル展、ヒロシマ・ナガサキ原爆被災パネル展等を実施し、戦争の恐ろしさや平和の尊さを幅広い世代に伝えた。

◆第 3 次枚方市男女共同参画計画の策定

男女共同参画施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成 28 年度を始期とする第 3 次枚方市男女共同参画計画を策定します。

実績

- ・第 3 次枚方市男女共同参画計画策定にあたり、男女共同参画推進審議会を 4 回(第 5 回～第 8 回)開催した。計画試案について市民説明会を市内 4 か所で 5 回実施、市民 9 人から公表意見数 16 件が寄せられた。1 月に同審議会から答申を受け、3 月に計画とアクションプログラムを策定した。

◆DV被害者をつくらない社会づくり

配偶者や恋人からの暴力に悩む市民からの相談件数は年々増加しており、相談内容も多岐にわたるため、関係機関と連携して、一人ひとりの被害者に寄り添った支援に努めます。また、DVを予防、防止する観点から、各種啓発事業や教育委員会と連携した事業を展開するなど、DV被害者をつくらない社会づくりに取り組みます。

実績

- ・DV 関係機関連絡会議の開催や支援者研修、必要に応じたケースカンファレンスを実施した。
- ・教育委員会と連携し、子どもたちを暴力の被害者にも加害者にもさせないための予防教育として、市内小学校6校の4年生387人を対象に「DV 予防教育プログラム」を開催した。
- ・DV 被害から回復するための教育プログラム「わがままステーション」を、平成27年度から新たに開催した。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取組内容・目標
1.広報機能の充実	見やすいホームページを目指し新たなデザインページを作成するとともに、ツイッターやフォトニュースを活用した積極的な情報配信を行う。広報ひらかたでは若い世代にも読んでもらえるような紙面づくりを進める。

実績

- ・ツイッターの手動発信は前年度比約1.4倍の409件。フォロワー数は1年間で587人増の4,146人となった。災害時などの緊急時にプッシュ通知ができるツイッターアラートの登録者は400人となった。
- ・市内でのさまざまなイベントを写真付きで紹介するフォトニュースを67件（昨年度比21件増）発信した。
- ・ツイッターでの情報発信に加えて、3月に市公式フェイスブックをスタートさせた。

- ・広報ひらかたでは、枚方の歴史や選挙、予算について子どもらに分かりやすく紹介する特集を組んだほか、地名に関する歴史コーナーを始めた。
- ・広報ひらかたをスマートフォンで見ることが出来る「i 広報紙」を導入した。

改革課題	取組内容・目標
4.広聴機能の充実	市民の声を市政に反映する取り組みとして、さまざまな広聴手法を活用して幅広い市民の声を収集し、施策に反映していく。また、IT媒体を利用した携帯・スマホアンケートについては、より安全な配信手法に変えて実施する。

実績

- ・さまざまな広聴手法を活用し、各手法の特徴を生かした効果的なアンケートができるよう、市政モニタリング制度を年度当初に庁内各課に通知し、周知を行った。携帯・スマホアンケートについては、平成27年度から市ホームページのメールマガジン機能を活用して、より安全な配信手法に変更した。

改革課題	取組内容・目標
5.新たな情報提供サービスの開始	コールセンターの導入に向けて、具体的内容を決定する。

実績

- ・市民からの問い合わせに的確に対応し、サービスの改善と市民満足度の向上を図ることを目的に、新たな情報提供サービスとなる「枚方市コールセンター」の準備作業を関係課と共に進め、平成28年4月から開始することを決定した。

改革課題	取組内容・目標
29.外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会の中期的な「経営プラン」が平成27年度中に策定されるよう協力する。

実績

- ・特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会では、市の要請に基づき、3月に「経営プラン」を策定した。

<改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取組内容・目標
ケーブルテレビ放送活用事業	ケイ・オブティコムによるケーブルテレビ放送は平成28年3月で終了する。それに伴い現在共同制作している20分の市政情報番組は9月放送分で終了し、10月から28年3月までは5分程度のニュース番組を共同制作して、市ホームページでも同時配信する。

実績

- ・市政情報番組は「野外活動センター」や「妊娠・出産から育児まで」などを特集し、9月まで毎月放送した。10月からは枚方市の取り組みやニュースなどを毎週土曜日に内容を更新して放送するとともに、市ホームページでも配信した。

事務事業	取組内容・目標
モニタリング事業	市政モニターアンケート、インターネットアンケート、携帯・スマホアンケートなど各手法の特徴等を生かした効率的なアンケートを実施していく。

実績

- ・市政モニター300人を対象に市政に関する市政モニターアンケート調査を2回、市ホームページを活用したインターネットアンケートを7回、携帯・スマホアンケートを12回実施した。

事務事業	取組内容・目標
市民の声運営事務	市政に対する市長への提言はがきやメールなどで寄せられた市民からの意見・要望等に迅速に対応を行っていく。また、市民の声を市政に反映させるため、傾向分析を行う。

実績

- ・市長への提言はがきなどにより年330件の「市民の声」を受理、市長に供覧するとともに担当部署へ調整依頼を行い、適切に対応を行った。また、平成26年度「市民の声」傾向分析報告書を作成し、全庁で共有するとともに市長に報告を行った。

事務事業	取組内容・目標
DV防止事業	潜在的な被害者の救済につながるような新たな周知方法を検討するとともに、市民への啓発事業を行なう。また、DVを防止する観点から、子どもたちが暴力の被害者にも加害者にもならないための予防教育プログラムを教育委員会と連携して実施する。

実績

- ・潜在的な被害者の救済にもつながるよう、DV相談窓口案内カードの配布、公用車等へのマグネット広告の掲示の他、啓発映画会等でDV防止についてのミニ講座やパネル展示を行い、更なる周知に努めた。
- ・教育委員会と連携し、子どもたちを暴力の被害者にも加害者にもさせないための予防教育として、市内小学校6校の4年生387人を対象に「DV予防教育プログラム」を開催した。

<業務改善運動のテーマ・目標>

テーマ	取組内容・目標
各事業のマニュアル作成	業務内容についてマニュアル化を進め、効率的な業務の推進を図る。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 各事業のマニュアルを整理し、一冊にまとめ課全体で共有できるようになった、マニュアルの見直し・修正を行ったなど、効率的な業務の推進に努めた。 	

テーマ	取組内容・目標
効率的な業務処理による業務効率の向上	業務効率を向上するため、職場の整理整頓、書類等の適正な管理、仕事の流れや人の動線を考えた書類の収納や机・書庫の配置を行う。また、仕事の優先順位を考え、課員相互の連携を図るよう努める。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 課全体会議の実施に向け共有スペースを広げたレイアウトの変更、定例的な職場の整理整頓の実施など、業務効率の向上に向けた取り組みを実施した。 業務の進捗状況を課内で共有し、職員相互の連携をより強めた。 	

Ⅲ 予算編成・執行

◆平成 26 年 3 月に策定した FM ひらかたの「経営改善プログラム」に基づき、FM ひらかたへの放送委託料を平成 26 年度の売上高の 63%となるよう設定し、対前年度比で 274 万円削減しました。

実績

・放送委託料は前年度比で 274 万円削減した。

◆ケーブルテレビ放送が平成 27 年度末で終了することに伴い、市政情報番組のケイ・オプティコムとの共同制作・放送委託料を見直し、対前年度比で約 143 万円削減しました。

実績

・放送委託料は前年度比で 143 万円削減した。

◆安定した広告収入の確保（予算ベース）
 市政情報モニター 約 126 万円（半期ずつ前払いのため半年分）
 バナー広告 約 199 万円
 広報ひらかた広告 約 642 万円

実績

・市政情報モニターは約 126 万円、バナー広告は約 308 万円、広報ひらかた広告は約 649 万円（合計約 1083 万円）の収入を確保した。

Ⅳ 組織運営・人材育成

◆部内の各職員が情報発信の視点を持ち、日常業務の中で行政内部や外郭団体、市民・企業などから得た多くの情報を効果的な発信につなげるよう努めます。

実績

・情報発信リーダーに対する研修を行い、効果的・積極的な情報発信を行うよう努めた。

◆「災害対応」「部の運営方針」などのテーマで、部の意見交換会を実施し、部の基本方針について職員の共通意識を高めます。

実績

・部内職員を対象とした災害発生時を想定した CMS の操作研修を行い、災害時の情報発信体制をより強固なものとした。
 ・部内事務連絡会議の開催ごとに部の運営方針進捗状況の確認を行い、基本方針について共通意識を深めた。

V 広報・情報発信

◆インターネットを通じた情報発信の強化

フォトニュースや写真付きの手動ツイッター、動画配信の充実に取り組みます。

実績

- ・フォトニュースを年間 67 件、手動ツイッターを 409 件発信するとともに、3 月からフェイスブックをスタートさせた。

◆DV相談窓口の周知

潜在的な被害者の救済にもつながるよう、新たな周知方法を検討し、枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」の一層の周知に努めます。

実績

- ・潜在的な被害者の救済にもつながるよう、DV相談窓口案内カードの配布、公用車等へのマグネット広告の掲示など、更なる周知に努めた。
- ・中学・高校生を対象にしたデートDV防止ハンドブック、公共トイレ等に掲示するDV予防啓発ステッカーを新たに作成し、効果的な活用について検討した。